
もう、いいんだよ

Dream Neon

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

もう、いいんだよ

【コード】

N40390

【作者名】

Dream Neon

【あらすじ】

強がっているときとか、我慢しているとき。一つの言葉で、世界が変わる。

(前書き)

強がっている君へ。何か到我慢している君へ。
この言葉。届けます。

「どうして強がっているの？」

突然現れた少女。突然かけられた言葉。

光の中、少女が放つ言葉。

光ってキエル。

強がってる…？

ああ。あのことが。

だけど…

「別に…強がってなんかいない」

「無理しなくても良いんだよ」

「無理なんかしてねえっ」

「
だったらどうして泣いているの？」

「っ！」

知らぬうちに頬へ落ちる涙。
なんで…？

「君の心は苦しんでる。もう限界だ、って涙となってサインを出してる。」

心は君自身。君が苦しいことに我慢するなら、強がるのなら、心も我慢するし、強がるよ。

でもそんなことをずっとしていたら、心だつて抑えきれなくて、涙を流すんだよ」

少女の声は、心に突き刺さるように響く。でも、やさしい。心が落ち着いていく。

「もう、いいんだよ」

その言葉が、暗闇にいた世界に光をくれたようだった。世界が……変わった…。

「……………もう、いいのかなあ？」

また、涙が流れてくる。

今度は苦しいんじゃない。

救われたような気持ちから出る涙だった。

「うん、いいよ。大丈夫」

大丈夫

もう…大丈夫

少女は微笑んでキエティツタ。

もしかしたら天使だったんじゃないかって思う。

そんな少女に届けよ。心の想いを。

ありがとう

(後書き)

たまに強がる事とかがあつて苦しかったのですが、
もつといいよ。と言われて救われたことが実際にありました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4039o/>

もう、いいんだよ

2010年10月19日21時46分発行